特定施設使用(変更)届出書

		年	月	日
岡山市長	様			
	申請人氏名以名称及び伊強い法人			

瀬戸内海環境保全特別措置法第7条第2項(第8条第4項、第9条)の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます

- C - 7 / E - 7 / E - 7			
工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類		※施 設 番 号	
有害物質使用特定施設の該当の有無	有 □ 無 □	※審查番号	
△特定施設の構造	別紙1のとおり。		
△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
△排出水の量(排水系統別の量を含む。)△排出水の汚染状態(排水系統別の汚染状態を含む。)	別紙4及び別紙5のとおり。	※備 考	
△用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
△特定施設の設備(有害物質使用特定 施設の場合に限る。)	別紙7のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、当該特定施設が水質汚濁防止法施行令(昭和46年政令第188号)別表第 1 又はダイオキシン類対策特別措置法施行令(平成11年政令第433号)別表第 2 のいずれに該当するか、並びに当該別表に掲げる当該特定施設の号番号及び名称を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙7を提出することを要しない。
 - 3 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用する レ
 - 4 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 5 変更申請の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 6 申請書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4と すること。

届出事項内容

事業場名 :

担当者氏名 : (電 話)

届出の概要 (汚濁負荷量の増減についても記載すること)

事項			添付の有無
#+ r ¹ →+/r ⇒n, ∞ +# \+		Dilýď 4	<i>→</i> /m
特定施設の構造		別紙 1	有 : 無
特定施設の使用の方法		別紙 2	有 : 無
汚水等の処理の方法		別紙 3	有 : 無
排出水の汚染状態及び量		別紙 4	有 : 無
排出水の排水系統別の汚染状態及び量		別紙 5	有 : 無
用水及び排水の系統		別紙 6	有 : 無
特定施設の設備		別紙 7	有 : 無
工程別排水系統図		添付資料	有 : 無
特定排出水、冷却水等の総括表		添付資料	有 : 無
特定事業場内排水系統図		添付資料	有 : 無
総量規制基準総括表		添付資料	有 : 無
特定事業場の周辺見取図		添付資料	有 : 無
特定施設の構造図		添付資料	有 : 無
特定施設の配置図		添付資料	有 : 無
有害物質使用特定施設の管理要領		添付資料	有 : 無
汚水処理施設の設計計算書		添付資料	有 : 無
汚水処理施設の構造図		添付資料	有 : 無
ダイオキシン類発生抑制のための構造上の		添付資料	有 : 無
配慮及び運転管理に関する事項			
その他()	添付資料	有 : 無

特 定 施 設 の 構 造

工場又は事業場に おける施設番号		
特定施設号番号及び名称		
型 式		
構造		
主要寸法		
能力		
配置		
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考と なるべき事項		

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

特定施設の使用の方法

	場又は事業場に ける施設番号						
	三施設号番号及び名称						
設	置場所						
操	業の系統						
使	用時間間隔						
1	日当たりの使用時間						
使季							
杉 程 及	類材料(消耗資 対を含む。)の 類、使用方法 なび1日当たり の 使 用 量		_			_	_
	種類・項目	通	常	最 大	通常	最	大
	рН						
	BOD(mg/l)						
	COD(mg/l)						
汚水	SS(mg/l)						
等	油分(mg/l)						
の汚	T - N(mg/l)						
染	T - P(mg/l)						
状態	大腸菌群数(個/cm³)						
	汚水等の量	通	常	最 大	通常	最	大
	(m³/目)						
	その他参考と なるべき事項						

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について 記載すること。

汚水等の処理の方法

	又は事業場に								
	る施設番号								
	理 施 設 の 置 場 所								
設設			年 月				年 1	H D	
	置 年 月 日 <u></u> 着手予定年月日		年 月 年 月					月 <u>日</u> 月日	
	有于了定年月日 完成予定年月日		<u>年</u> 年 月					1 	
	元成了定年月日 開始予定年月日							7 日 月 日	
	夏及び型式		<u> </u>	1 H			<u> </u>	1 H	
構	造								
主	要寸法								
能	<u>力</u>								
	理の方式								
処 :	理の系統								
集水	及び導水の方法								
使月	月時 間 間 隔								
	当たりの使用時間								
	の季節変動								
	耗資材の								
	当たりの								
用追	È別使用量 T	\→	علد	Ħ	1.	\⊅	علد	l =	1.
	 種類・項目	通 処理前	常 処理後	最 処理前	大 処理後	通 処理前	常 処理後	最 処理前	大 処理後
	↑ ★単 4日 · ★日 · 日		7/JUT#175	7/LTELETT	火吐井1万			W/LT#111	7/LT±175
		人马王的	/ 二人	∕C>±n₁	/O.L.O.	/CPENI	人子王汉	\C\T. 1₁1	人主汉
	рН	ZEEHI	八工区	人	/ ○工人	ZZENII.	及主汉)CJ_LIII	人工 权
 汚 水		ZZENI	7C-1K	XXXIIII	7C-1K	ACPENII.	足是汉	/С-ДП	入工区
水 等	рН	ZZEHI		ZZENI		ZZENI	及至区	/CLIM	
水等の汚	pH BOD(mg/l)	ZZEHI Z		ZZEM		ZZENI -	及至区	/CEIII	
水等の汚染	pH BOD(mg/l) COD(mg/l)	ZZEHI		ZIN		ZZENI	尺柱区		
水等の汚染状態	pH BOD(mg/l) COD(mg/l) SS(mg/l)	ZZEHI		ZIN		ZZENI -	人公主以		
水等の汚染状態及び	pH BOD(mg/l) COD(mg/l) SS(mg/l) 油分(mg/l)	ZZENI		ZIN		ZZENI -	及至区		
水等の汚染状態及	pH BOD(mg/l) COD(mg/l) SS(mg/l) 油分(mg/l) T-N(mg/l)	ZZENI		ZIN		ZZENI Z	及至区		
水等の汚染状態及び	pH BOD(mg/l) COD(mg/l) SS(mg/l) 油分(mg/l) T-N(mg/l) T-P(mg/l)	ZZEHI Z		ZIN		ZZENI Z	人公主以		
水等の汚染状態及び	pH BOD(mg/l) COD(mg/l) SS(mg/l) 油分(mg/l) T-N(mg/l) T-P(mg/l)	ZZEHI Z		ZIN		ZZENI Z	人公主以		
水等の汚染状態及び量	pH BOD(mg/l) COD(mg/l) SS(mg/l) 油分(mg/l) T-N(mg/l) T-P(mg/l) 大腸菌群数(個/cm³)	ZZENI		ZZEN		ZZENI Z	人民主义		
水等の汚染状態及び量残類があるのでである。	pH BOD(mg/l) COD(mg/l) SS(mg/l) 油分(mg/l) T-N(mg/l) T-P(mg/l) 大腸菌群数(個/cm³) 量 (m³/日) 全種類、1月間の種 正成量及び処理方法	ZZEHI Z		ZIN		ZZENI -	人公主以		
水等の汚染状態及び量残類排	pH BOD(mg/l) COD(mg/l) SS(mg/l) 油分(mg/l) T-N(mg/l) T-P(mg/l) 大腸菌群数(個/cm³) 量 (m³/日) 全域量及び処理方法 水の排出方法	ZZENI		ZIN			人公主以		
水等の汚染状態及び量残類排そ	pH BOD(mg/l) COD(mg/l) SS(mg/l) 油分(mg/l) T-N(mg/l) T-P(mg/l) 大腸菌群数(個/cm³) 量 (m³/日) 全種類、1月間の種 正成量及び処理方法	ZZEHI Z		ZIN		ZZENI Z	人公主以		

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載 すること。
 - 2 排出水の排出方法の欄には、排出口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排出水の汚染状態及び量

排出	出口名称(番号)								
	種類・項目	通	常	最	大	通	常	最	大
	рН								
	BOD(mg/l)								
排	COD(mg/l)								
出	SS(mg/l)								
水 の	油分(mg/l)								
汚	T - N(mg/l)								
染 状	T - P(mg/l)								
態	大腸菌群数(個/cm³)								
排	出水の量	通	常	最	大	通	常	最	大
(m	3 / 目)								
	の他参考と るべき事項								
6	O C 7 'A								

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について 記載すること。

排出水の排水系統別の汚染状態及び量

								指定項目	の別	化学的酸	素要求量
	業種その他 の 区 分	汚染 (m ş				水 (m³.	量 /日)			汚濁釒 (k g /	
		通常	最 大	通常	最大	Q	0	Q _{C i}	$Q_{C j}$	通常	最 大
特											
定排											
出水											
八											
	合 計										
		汚染 (m s	状態 g/l)	水 (m³	量 ³ / 日)			負荷量 /日)			
特	種類及び用途		最大	通常	最大		 常	最大			
定 排										,	
出水											
以 外											
が排									,		
出水											
	合 計										
そな											
のる 他べ											
参き 考事											
と項											

- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
- 2 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、化学的酸素要求量について記載すること。

排出水の排水系統別の汚染状態及び量

							指定項目	の別	窒素含	含有量
業種その他の区分		汚染状態 (mg/l)		水 量 (m³/日)					汚濁負荷量(kg/日)	
	通常	最大	通常	最 大	Qr	n 0	Q _{n i}	Q _{n j}	通常	最大
			水	量						
種類及び用途				7 日)	(
	通常	最 大	通常	最 大	通	常	最 大			
								/		
合 計										
								V		
	の 区 分	業種その他 の 区 分 通 常 合 計 種類及び用途 通 常	業種その他の 区 分 通 常 最 大	業種その他の 区分 通常 最大 通常	業種その他 の 区 分 通 常 最 大 通 常 最 大 合 計 活染状態 (mg/l) (m³/目) 通 常 最 大 通 常 最 大	業種その他 の 区 分 通 常 最 大 通 常 最 大 Q ₁	業種その他 の 区 分	業種その他の区分 汚染状態 (mg/l) 水 量 (m³/目) 通常最大 通常最大 Qno Qni Qno Qni 合計 汚染状態 (mg/l) (m³/目) (kg/目) 通常最大 通常最大 通常最大	業種その他の区分 (mg/l) (m³/目) 通常最大通常最大 最大 Qn0 Qni Qnj 合計 // (mg/l) // (m³/目) // (kg/目) 種類及び用途 通常最大通常最大通常最大 基大 通常最大	業種その他の区分 汚染状態 (mg/l) 水量 (m³/日) 活機 (kg. 通常最大通常最大 (mg/l) 通常 (kg/日) 活験状態 (mg/l) 水量 (kg/日) 通常最大通常最大 (mg/l) 海常最大 通常最大

- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
- 2 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、窒素含有量について記載すること。

排出水の排水系統別の汚染状態及び量

								指定項目	の別	りん言	含有量
	業種その他 の 区 分	汚染 (m ş	状態 g/1)			水 (m³/	量 /日)			汚濁၍ (k g /	
		通常	最 大	通常	最大	Q_{1}	0 0	Q _{pi}	Q _{pj}	通常	最大
特 定											
排 出											
水											
			火態 状態	水	量			負荷量			
	種類及び用途		g/1)		7 日)	(/日)			
特		通常	最大	通常	最大	通	常	最 大			
定 排											
出水											
以 外											
の 排									/		
出											
	合 計										
そな のる									<u>/</u>		
他べ											
参き考事											
と項											

- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
- 2 汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、<u>りん含有量</u>について記載すること。

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統					
	用	途	使	用水	用水使用量(m³/日)
用途別用水使用量					

特定施設の設備

工場又は事業場における 施設番号		
特定施設号番号及び名称		
設備	i .	
構	ì	
主 要 寸 法	÷	
配置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。

² 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

添付資料

化学的酸素要求量に係る総量規制基準総括表 (年度)

排水口	業種区分その	化学的酸素要求量		排出水の量(m³/日)		汚濁負荷量(kg/日)	
番 号	他の区分番号	区分	C c (mg/1)	通常	最大(Q)	通常	最大(L)
	L	計					
<u> </u>					Ì		

(注)

- 1 化学的酸素要求量とは、平成 年岡山県告示第 号別表第 欄に掲げる区分((1)、(2)又は(3)) ごとの値とする。
- 2 業種区分ごとの汚濁負荷量は、小数点以下 2 桁 (3 桁目を四捨五入) までを記載し、合計欄は、小数点以下 1 桁 (2 桁目を四捨五入) とする。

添付資料

窒素含有量に係る総量規制基準総括表 (年度)

排水口			排出水の量(m³/日)		汚濁負荷量(kg/日)		
番 号	他の区分番号	区分	Cn(mg/1)	通常	最大(Q)	通常	最大(L)
	合	計					

(注)

- 1 窒素含有量とは、平成 年岡山県告示第 号別表第 欄に掲げる区分((1)、(2) 又は(3)) ご との値とする。
- 2 業種区分ごとの汚濁負荷量は、小数点以下 2 桁 (3 桁目を四捨五入)までを記載し、合計欄は、小数点以下 1 桁 (2 桁目を四捨五入)とする。

添付資料

りん含有量に係る総量規制基準総括表 (年度)

排水口	業種区分その	りん含有量		排出水の量(m³/日)		汚濁負荷量(kg/日)	
番号	他の区分番号	区分	Cp(mg/1)	通常	最大(Q)	通常	最大(L)
	合	計					

(注)

- 1 りん含有量とは、平成 年岡山県告示第 号別表第 欄に掲げる区分 ((1)、(2) 又は (3)) ご との値とする。
- 2 業種区分ごとの汚濁負荷量は、小数点以下2桁(3桁目を四捨五入)までを記載し、合計欄は、小数点以下 2桁(3桁目を四捨五入)とする。